

城のある都市復活

# 福岡城だより

2012.1  
JANUARY  
No. 32



大分県立歴史博物館所蔵

## 「福岡城だより」

創刊九年目に寄せて

鴻臚館・福岡城歴史・観光市民の会 監事 仁田 辰治

新年あけましておめでとうございます。



て結成した「実行委員会」の機関誌として生まれた「お城だより」で

刊したのが今から九年前の六月でした。福岡城築城四百年を記念して「福岡城だより」が創

り、いろいろな催事情報や研究成果発表等を掲載しながら常に「会」のビジョンや方向軸を明記してきました。

鴻臚館・福岡城ゆかりの人々の執筆を重ねて、

いろいろな催事情報や研究成果発表等を掲載しながら常に「会」のビジョンや方向軸を明記してきました。

平成十七年（二〇〇五年）の第五号から会員500名の方々と共にNPO法人と成長し、正式名称「鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会」となり、特定非営利活動法人としての決算報告並びに年次事業の細目までも記載できるようになりました。

平成二十二年（二〇一〇年）からは本紙表記を「福岡城だより」と改め、更なる福岡城の復元に向かって内容を濃くして、月次編集会議にて会の方針に添つて制作発行される姿に敬意を払っております。毎年次、四季にわたりて定時、定速、毎三〇〇〇部を県、市、各機関に配布されており、特に全国のお城の再建を目指す団体へも提供されているばかりでなく、インターネット情報とも連携し、「お城」の貴重な資料として育てられてきたのではと思つております。今回からは更に一步前進して、福岡城跡の「跡」の字を削除した会名と共に前に向かって天高く、理想の飛龍の姿を描いてください。

## 第1回「市民フォーラム」

# 福岡城・鴻臚館を観光都市福岡のランドマークに

「勿体ない！ 今こそ活かそう都心の48万m<sup>2</sup>」

## 平成23年度福岡県「新しい公共」支援事業

日時：平成24年1月10日（火）14：00～16：30（開場13：30）  
場所：アクロス福岡 4階 国際会議場  
定員：300名（先着順） 入場無料

### あつ！ 観光客が福岡を素通り

九州新幹線全通で今年度上期は関西・中国から九州入りこみの観光客が大変増えていました。ところが皆さん福岡を素通りして、熊本や鹿児島に向かっています。鹿児島の指宿温泉など宿が取れないくらいという噂も出るくらいです。どうも遠方から見える方々にどうぞ福岡は観光地ではないと思っているらしいのです。そんなことはない、福岡には素晴らしい歴史・文化の観光資源や固有の食文化も沢山あるのに。熊本といえば何ていつたって「熊本城」・「水前寺公園」、一寸足を伸ばせば雄大な「阿蘇」と誰もがすらすらと言います。

鹿児島といえば、噴煙の上がる「桜島」、それに「西郷さん」「島津の磯公園」近くに「霧島」「指宿」温泉とすらすら出てきます。福岡といえばすらすら出てくるのはどこでしようか。福岡市民が「遠来のお客様を案内するところは？」と問われて「うーん」となります。「大宰府」「柳川」ですか。福岡市ではないですね。そうだ福岡には万人が思いつく「ランドマーク」がないのですね。福岡に観光に行つてみようと思わない。困ったものです。何とか福岡にも「ランドマーク」を作りましょうよ。

### 都心の福岡城・鴻臚館は いつたいどうなつてているの



都心にある48万m<sup>2</sup>の福岡城、そこには1300年も前の鴻臚館も出てきています。

福岡城下町として今の姿に出来上がった東西7kmの福岡のど真ん中にぽつかりと真空地帯のように福岡城という史跡がひっそり（？）たたずんでいる。これこそ立派な石垣も残っている歴史・文化の殿堂ではないか。あまり人も訪れず、市民も行つたことがないという人が沢山います。まさに勿体ない話です。

ここから今度のフォーラムは始まります。主催・福岡城・鴻臚館の将来を市民と考える実行委員会

共催・NHK福岡放送局  
後援・福岡市 福岡市教育委員会 福岡商工  
会議所 福岡コンベンションビューロー

市研究所 福岡青年会議所 福岡アジア都市  
銀行 ホーリースタウン NPO鴻臚  
館・福岡城歴史・観光・市民の会  
城歴史・観光・市民の会

### 福岡城・城下町の魅力紹介、 金沢城からも学ぼう

お二方のスピーチが始まります。九州大

学名誉教授の丸山雍成先生の「天下の福岡城と多彩な文化の城下町」です。黒田如水・長政親子のつくった国際都市福岡の構想を

今に重ね合せます。

次は北陸の金沢城調査研究所長北垣聰一郎先生の「福岡城と似ている金沢城からのメッセージ」です。明治の初めに陸軍が城域を押さえたから、今でも城郭がそつくり残っています。しかし建築物はほとんどといつていいくらいなくなってしまいました。福岡城と金沢城は似ています。どちらも、今観光都市のシンボルとして活用しようというところに来てます。あらためて境涯の似ている金沢城の話を聞いて福岡城活用のヒントをいただきま

す。どちらも城下には伝統的な町屋が残っています。あらためて境涯の似ている金沢城の話を聞いて福岡城活用のヒントをいただきま

# 市民大学第四期生誕生

第四回福岡歴史・観光市民大学は、六月六日の開講式から始まり、十一月十四日に終講式が行われました。回を重ねることに盛況で、今年は申込者が一五七人もあり選ばれた一一六人が受講し、八二%にあたる八九名の方々に修了証書が渡されました。

とても熱心な方が多く毎回の出

席率も良く、次年度の開催についてもお尋ねがあり

ます。年々、充実した市民大学になつてきて



### 成23年 福岡歴史観光市民大学 修了証授与式





PHP研究所発行「歴史街道 2009.4」より

慶長五年（一六〇〇）

① 「国東半島・別府石垣原」を訪ねる!!  
実施日 平成二十三年六月十八日(土)

# 黒田如水の天下分け目の関ヶ原 九州戦跡を訪ねるバスツアー報告

西軍に組みする国東半島の諸城を攻略しつつ、大友義統軍を「石垣原」にて破り、北九州全域を制圧します。

田如水は天下を夢見て軍を起こし中津城を進発します。

関ヶ原戦を前にして、黒

② 「隈本城・宇土城・佐敷城」を訪ねる!!  
実施日 平成二十三年九月十七日(土)

黒田如水は東軍方の隈  
本城城主加藤清正と連携  
を密にし、肥後水俣まで  
軍を進め西軍方の薩摩・  
島津勢と対峙します。

関ヶ原合戦後、黒田家は筑前国五十二万石、加藤家は肥後国五十四万石の大々名となります。



NPO法人 福岡城市民の会(略称)発足8周年記念特別事業  
歴史探訪・バスツアー

# 「黒田如水・長政親子」の九州戦跡を訪ねる

黒田如水は、天正15年(1587)豊臣秀吉の九州征討で戦功をあげ、中津城を築きました。

黒田長政は、慶長5年(1600)関ヶ原合戦において大功をおさめ、筑前国52万石の太守となり広大な城を築き「福岡城」と名付けました。

以来400年後、「福岡県福岡市」の地名が生まれ、九州の中心都市として発展を続けています。

本年も黒田如水・長政親子の戦功を顕彰する歴史探訪バスツアーを下記の通り実施します。会員の方は勿論のこと、友人知人の方にもお誘いの上、お気軽にご参加頂きますようご案内申し上げます。

福岡城市民の会 事務局長 岡部 定一郎

第1回	平成24年 3月 9日(金)・ 10日(土)	豊臣秀吉の九州征討 「豊後・日向口」を訪ねる1泊2日	第5回	7月14日(土)	九州の関ヶ原「肥後水俣城・佐敷城・宇土城」を訪ねる
第2回	4月14日(土)	黒田家、九州最初の拠点 豊前「中津城」を訪ねる	第6回	9月 8日(土)	六端城めぐり①若松城・黒崎城・ 高取城
第3回	5月12日(土)	「文禄・慶長役」肥前名護屋城と 黒田陣屋跡を訪ねる	第7回	10月13日(土)	六端城めぐり②益富城・小石原城・ 右左良城
第4回	6月 9日(土)	九州の関ヶ原「豊後国東半島と 別府石垣原」を訪ねる	第8回	11月10日(土)	黒田長政がつくった「直方藩」と 「秋月藩」

●旅行代金 第1回¥25,000円 第2回～第8回各回¥9,000円

●募集人員 各回30名(最小催行人員、各回20名)

●企画 NPO法人 福岡城市民の会 同行:岡部定一郎 野田弘信 ●旅行実施 (株)西日本新聞旅行

お申し込み  
お問い合わせ

(株)西日本新聞旅行 福岡市中央区天神1-4-1 担当:安倍 TEL 092-711-5518 FAX 092-711-1969

## 福岡城・市民の会の名称が変わりました!!

NPO法人 鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会(平成17年2月8日に発足)の名称を変更いたしました。

当会の活動目的の一つである鴻臚館・福岡城の復元や保全に関する研究及び啓蒙事業を進める際に福岡城跡の表現は、適正でないと判断して「跡」を削除し鴻臚館・福岡城歴史・観光・市民の会となりました。法務局に手続きをいたしまして平成23年10月28日に認可、11月8日に登記が終りました。

これからも会員の皆様方とともに、この会を発展させていきたいと決意も新たに事務局員一同頑張ってまいります。応援よろしくお願ひ申しあげます。

### 新規会員名簿 (平成23年10月1日現在)

正会員(個人)

野口剛生  
坂本俊信  
安倍信己

一般会員(個人)

山口哲子

### 編集・発行 鴻臚館・福岡城歴史・観光・市民の会

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-12-15 読売福岡ビル7階  
TEL 092-716-8238 FAX 092-716-8254

HPアドレス <http://fukuokajokorokan.npgo.jp/>

E-mail [fukuokaj@tos.bbiq.jp](mailto:fukuokaj@tos.bbiq.jp)

[デザイン・印刷] 城島印刷株式会社

福岡城市民の会

検索

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

今年は市民の会にとって、うれしい年になります。

りそうです。

昨年九月から福岡県「新しい公共」支援事業を福岡市や民間の方々と進めております。

今までの会の歩みに少し弾みがついた感じがいたします。

また、福岡市が経済観光文化局とする組織の再編集を発表し四月より実施されます。我々の念願である福岡城・鴻臚館の再生への道が

愁眉を開かれた気がします。

福岡城・鴻臚館をランドマークに掲げ、こ

れから大いに飛翔したいと思います。今年は

龍年、より躍進したいと願っております。

会員の皆様方の積極的な会へのアプローチを

ぜひお願いしたいと存じます。

一月十日の「市民フォーラム」も併せて応援

方よろしくお願ひ申しあげます。